

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス上尾駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	1.利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか	80.0%	20.0%	0.0%	サーキットを行う際は、スペースを広く確保して取り組んでいます。	
	②	2.利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	80.0%	20.0%	0.0%	基準人員以上のスタッフを配置しています。	必要に応じて、他教室と連携を取り応援体制を設けています。
	③	3.生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所等の設備は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	100.0%	0.0%	0.0%	ロッカーや椅子、下駄箱に個人マークを付け、視覚的に分かりやすい環境設定をしています。また、席の配置や環境設定は個人に合わせて話し合いを行って決定しています。	
	④	4.生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100.0%	0.0%	0.0%	清掃は毎日実施し、空気清浄機の設置や換気を行い清潔空間を保つようにしています。	
	⑤	5.必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	60.0%	40.0%	0.0%	個別療育やグループに分けて行う活動の際は、パーテーションを使用し区切って過ごしています。	
業務改善	⑥	6.業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100.0%	0.0%	0.0%	日々の朝礼・終礼を通して個々のトレーニングの報告を行っています。また、定期的に個別支援会議を実施し、面談後は職員間で内容の共有を行っています。	
	⑦	7.保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	2025年12月に保護者に向けてアンケートを配布し、集計結果を職員間で共有しました。その結果を元に、適宜業務改善に繋げています。	
	⑧	8.職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	日々の朝礼・終礼を通してより良いトレーニングのための意見を出し合い、改善に繋げています。	
	⑨	9.第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%	第三者による外部評価は行っていないが、令和6年度に県の実地指導の実施・定期的にハッピーテラス本部による運営等に關わる評価を行い業務改善に繋げています。	

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス上尾駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑩,職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	本部の企画する研修の他、事業所内で毎月勉強会を行っています。また、発達障害専門研修をはじめとした外部で開催される研修にも、積極的に参加しています。	
	⑪,適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	個別支援計画や日々の日誌や面談を通して、適切な支援プログラムの作成と公表に努めています。	
	⑫,個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	子ども一人ひとりの発達状況や保護者の意向を適切に把握することで、個々に合わせた計画の作成に努めています。	
	⑬,児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童発達支援計画を作成する前に、職員全体の共通理解の下で子どもの最善の利益を考慮し検討をした会議を行っています。	
	⑭,児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	子どもたちのより良い支援に繋がるように、児童発達支援に基づくトレーニングを行っています。	
	⑮,子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	必要に応じて、太田ステージを使用して発達段階について適宜確認をしています。	引き続き、今以上のアセスメントツールの活用に努めていきたいと思います。
	⑯,児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者へのアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を職員全員で客観的に分析しています。また、子どもが家庭や地域社会における生活を通じて、様々な体験を積み重ねられるように考慮しています。	
	⑰,活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80.0%	0.0%	20.0%	当日の個別担当者や集団メイン担当者がプログラムの考案を行い、それを元にチームで検討を行っています。 ※1名該当なしと回答	

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス上尾駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑯ ⑯ ⑯ ⑯ ⑯ ⑯	18.活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	子どもの日々の様子を観察したり保護者から家庭での様子を聞き取り、その子が楽しみながら取り組めるように毎回考慮し立案・実践しています。	
	19.子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	子ども一人ひとりの発達状況や保護者の意向などを踏まえ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて作成・支援に努めています。	
	20.支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	朝礼時に職員間での共有を行うと同時に、集団活動では支援の内容や役割分担について丁寧に確認を行っています。	
	21.支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	終礼時にトレーニングの振り返りや保護者からの意向等を共有し、次回からの支援に繋がるよう話し合いを重ねています。	
	22.日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童発達支援計画に基づきその日の状況を記録し、支援の検証・改善に繋げています。	
	23.定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	定期的なモニタリングに併せ、上記の支援記録の評価を根拠に、全指導員・児童発達支援管理責任者で話し合いを重ね児童発達支援計画の見直しの必要性の判断をしています。	
⑯ ⑯ ⑯	24.障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	担当者会議には、より関わりの深い職員が参加するようにしています。	
	25.地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	必要に応じて、保護者や幼稚園・保育園からの要請を受け各連携機関との連携を図っています。	
	26.併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80.0%	20.0%	0.0%	園訪問等を通して、情報共有や相互理解を図っています。また、保護者から提供して頂いた発達検査の共有を引き続き行っています。	

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス上尾駅前教室

この連携関係機関や保護者との連携	チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
②の連携関係機関や保護者との連携	27,就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60.0%	40.0%	0.0%	短信や記録の共有等を通して、情報共有や相互理解を図っています。	必要に応じて、小学校等との密な連携をとれる体制を整えていきます。
	28,地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	60.0%	40.0%	0.0%	必要に応じて、相談や訪問での情報共有等を行っています。	今後、研修への積極的な参加を含め、各専門機関との連携強化に努めていく方針です。
	29,保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	50.0%	50.0%	0.0%		ほとんどの子供が幼稚園や保育園療育園に通っているため現時点では設けておりませんが、今後必要に応じて検討していきたいと思います。
	30,日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎回保護者の方に療育の様子をみていただいだ後、家庭での様子や発達の状況や課題について話をする時間を設け、共通理解を図るように努めています。	
	31,家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60.0%	40.0%	0.0%	現在ペアレントトレーニングを称したトレーニングは行っていませんが、研修に参加したり必要に応じて相談・支援を行ったりしています。	引き続き、家族支援に対する理解をや学びを深められる研修に参加していき、専門性を高めていきます。
③の連携関係機関や保護者との連携	32,運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時に子どもや保護者の方が児童発達支援を適切且つ円滑に利用できるよう、契約時に丁寧に説明をするよう努めています。	
	33,児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	0.0%	職員でトレーニングの様子を話し合った後、保護者との面談を通して意向を確認しながら児童発達支援計画の作成に努めています。	
	34,「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者との面談時に、児童発達支援計画を提示しながら同意を得ると同時に、分かりやすい説明に努めています。	
	35,定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎時間保護者とのフィードバックの時間に相談・支援を行っています。また、必要に応じてトレーニング時間外に面談枠を設け面談を行っています。	

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス上尾駅前教室

保護者への説明責任等	チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑯	36,父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者同士の連携・意見交流の場として、SST・交流会・懇談会を定期的に開催しています。	引き続き、定期的な保護者支援の場を設けると共に、きょうだい同士で交流する機会も含め連携支援に努めています。
	37,こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	子どもや保護者が悩みを抱え込むことのないよう、迅速に相談に応じ信頼関係を築くように努めています。また、職員間で内容の共有を行い、必要に応じて改善を行っています。	
	38,定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	前月に出席表を配布し、イベント等は別途手紙で告知しています。また、ブログ等を通して日々の活動の様子を発信しています	
	39,個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	個人ファイルは鍵付きのキャビネットに保管し、パソコンにパスワードをかける等の対策をとっています。	
	40,障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	保護者との面談を重ね、必要に応じて個々に合わせた配慮に努めています。	
	41,事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40.0%	60.0%	0.0%	イベントの際に、地域の方と関わる機会を設けています。	今後、地域の方と関わるイベントを増やしていくよう考慮していきます。
⑯	42,事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	マニュアルを作成し、教室内に掲示し周知に努めています。また、年に2回消防署の方のご指導の元、火事や地震などの災害を想定した避難訓練を行っています。	
	43,業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	業務継続計画の策定を行い、非常災害を想定した訓練や備蓄の確認を定期的に行っています。	
	44,事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約後は迅速な対応ができるように、保護者からの聞き取りを行っています。予防接種については、短時間利用の為確認は必須としていません。	今後も、職員間で救急対応の訓練を続けていきたいと思います。

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス上尾駅前教室

非常時等の対応	チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		100.0%	0.0%	0.0%		
④⁵	45,食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%	0.0%	医師の指示書が必要な児童は現時点はいません。普段のトレーニングでは食事提供がない為、イベント時に飲食がある場合に口頭又は書面にて確認をとっています。	
④⁶	46,安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	安全計画の作成と共に、身の回りの玩具や室内環境が安全に配慮されているかを定期的に確認し、支援に臨んでいます。	
④⁷	47,こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	作成した安全計画を元に、期間ごとに緊急連絡先やメールアドレスを通して周知に努めています。	
④⁸	48,ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ヒヤリハットがある場合は、終礼時に報告すると共に報告書に詳細を記載して閲覧し、改善に努めています。	
④⁹	49,虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	虐待防止研修に参加し、全職員へ共有を図りチェックリストを実施する等努めています。	
④⁹	50,どのような場合にやむを得ず身体拘束を行つかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	80.0%	0.0%	20.0%	身体拘束が必要な場面について、組織的に話し合い決定しています。また、契約時に保護者に同意を得ると同時に児童発達支援計画に記載しています。	

※この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。